

さんいん 企業 物語

SAN-IN
COMPANY STORY

三

栄

1 LEMとの出会い

【会社概要】

株式会社三栄/松江市

創業	1975(昭和50)年
営業種目	健康食品・化粧品 卸小売業
資本金	1千万円
代表取締役社長	坂田年彦
従業員数	7人
所在地	松江市玉湯町湯町1554-2
電話番号	0852(62)2780



坂田美津江会長(左)と坂田年彦社長=松江市玉湯町湯町、三栄本社

日本における健康水準は、生活レベルの向上や医療技術の進歩、公衆衛生などの社会保障の充実が大きく寄与し、世界トップクラスだ。しかし現代においてもなお、心身の不調に悩む人は少なくない。複雑な人体システムや病気のメカニズムは解明されていない部分が多く、近代西洋医学では十分に対応しきれないのが要因の一つとも言える。そんな中、良い品を厳選して提案し、顧客の健康に寄り添い続けているのが、(株)三栄(松江市玉湯町湯町、坂田年彦社長)だ。安全性と有効性を兼ね備えた商品の提供を通じ、健康寿命の延伸やストレス軽減を目指している。

生活習慣病死が6割超

世界中で猛威をふるった新型コロナウイルスの流行は、人々の健康意識を一気に高めるきっかけの一つとなった。中高年だけでなく、Z世代やミレニウム世代と呼ばれる若者も、免疫力を高めることや体調管理に気を配り、健康食品やサプリメントを生活の中に取り入れる人も多い。しかし三栄が創業した1975(昭和50)年当時は、様相が違った。

経済成長が進み、国民の栄養状態が著しく改善した一方、脳

卒中やがん、心臓病などの生活習慣病が増加。三つの疾患が総死亡に占める割合は50(同25)年が24・7%だったのに比し、70(同45)年は54・8%、80(同55)年には6割を超えた。長時間労働や休日出勤がまん延し、「ワークライフバランス」や「健康経営」などといった言葉もなかった。

京都で敏腕営業社員だった初代奥村恒雄は、知人のつてを頼って松江の地で起業したものの、間もなくして狭心症に襲われた。「当時の奥村は1日にタバコを80本吸い、休日は日本酒1升を空ける生活を送っていたそ

うです。大好物はビフテキ。新天地でのストレスも加わり、50歳手前だった体は悲鳴を上げてたんでしょう。そう話すのは創業11年後の入社以来、長年奥村のかばん持ちを務めた3代目の坂田美津江(72)だ。

全国へと高まる知名度

明け方になると毎日のように発作に襲われて苦しむ奥村に対し、知人が勧めたのがのちに同社の主力商品となる健康ドリンク「茸源」^{じょうげん}だった。当時100ミ

初代が大腸癌を宣告されるも 治療をやめ「茸源」一本に絞る

安くはなかったが、飲むと胸の痛みが治まったため、しばらく飲用を続けた。しかし、症状が落ち着いてくるにつれ、飲まない日も増えていった。

茸源は、シイタケの菌糸体を長期間固体培養し、有用なエキスを抽出したシイタケ菌糸体培養培地抽出物（LEM）をベースにした製品。LEMを発見し、シイタケの固体培養菌糸体から薬効成分を抽出する方法の特許取

得をした野田食菌工業（千葉県野田市）が製造している。同社は73（同48）年、1000ミリのドリシクを1日4万本製造可能な工場を新設。販売網の拡大や書籍での紹介の影響で、茸源の知名度は全国的に高まってきていた。

国内外の研究者の間でもシイタケやキノコ類、LEMに関する学術的な研究が進められており、マスメディアには専門家の論文や愛飲者の体験談が掲載さ

れるように。75（同50）年には、すい臓がんで余命1カ月半を宣告された男性が、茸源の飲用を経て健康を取り戻したエピソードなどを紹介した書籍も出版され、話題になっていった。奥村が知人から茸源を勧められた時期に重なる。

「これに頼るしかない」

狭心症の発作が治まった奥村

はしばらくして、便が出にくくな

るなどの不調を訴えるように。

そして78（同53）

年、末期の直腸

がんを宣告され

る。主治医が告

げたのは、患部を

切除しても2年

以内の再発は免

れないという言

葉だった。術後は

人工肛門を装着

し、抗がん剤治

療をスタート。しかし、あまりの

苦しさから治療を拒んだ奥村に

家人が勧めたのが、茸源だった。



三栄の主力商品「茸源」と、マスコットキャラクター「れむたん」

「これに頼るしかない」。入院中から奥村は水代わりのように茸源を口にし、その量は1日1200ミリにも及んだ。約1カ月後に退院したのちも飲み続け、体調は次第に回復。がんの再発を示唆されていた2年後、奥村は主治医から「当分心配ないでしょう」と大鼓判を押された。

がんの消失の要因は、医学的には分からなかった。しかし奥村は、治療をやめた後も飲み続けた茸源の力を信じた。「命を助けてもらった私には、この商品を世の中に広めていく使命がある」。そう考え、茸源を販売元から仕入れて販売活動を強化していった。

（文中敬称略）

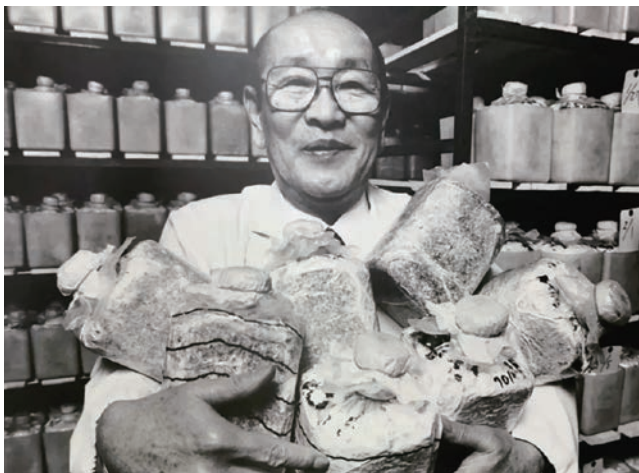
——次号に続く——

（フリーライター・門脇奈津子）



三栄では創業間もなく健康食品の販売をスタート。社内では随時勉強会を開き、商品の提供だけでなく正しい知識の紹介にも力を入れている。松江市玉湯町湯町

初代奥村恒雄氏



LEMを生み出した野田食菌工業株創業者の飯塚千代吉氏＝(株)同社HPより